

国語科「古典B」学習指導案

実施日 令和2年1月28日(火)3限

場 所 302教室

対 象 古典B発展下受講者 5名

教科書 『精選古典B新版』(東京書籍)

授業者 野元 稚紗紀

1 実践のねらい

(1) 単元設定の理由

本実践は、中間年次の「古典B」における「読むこと」の授業実践である。これまで古文においては『源氏物語』「光源氏の誕生」や『平家物語』「忠度都落ち」の文章、漢文においては『史記』「鴻門之会」や「四面楚歌」などの文章を読み、登場人物の心情や当時の文化・歴史などについて考えてきた。漢文においては、現段階である程度句法を押さえた現代語訳をすることができるようになっている。しかし、一文ずつの現代語訳はできても、全体を通した内容理解に乏しい生徒も多い。対象生徒にアンケート調査を行ったところ、全員が「漢文の学習が好きである」と答えたものの、やはり内容の読み取りに関して難しさを感じていることが分かった。そこで、同じ題材を扱う文章の読み比べをすることで、内容の共通点や相違点、展開や構成の意図を考え、内容を的確に読み取る力をつけることができるのではないかと考えた。そのため今回は『十八史略』「完璧而帰」の教材を用い、『史記』「廉頗藺相如列傳第二十一」との読み比べを通して、内容を展開や構成に即して読解する実践を行うことにした。

(2) 教材観

『十八史略』は『史記』以降の正史を簡略化して抜き書きしたものである。教材文の「完璧而帰」は二段落構成になっており、第一段落は藺相如が秦の昭王から璧を取り返し無事に持ち帰った場面、第二段落が澠池で昭王に対峙した場面という内容構成になっている。今回は故事成語として有名で生徒に親しみやすい第一段落を取り上げ、読み比べを行うこととした。教材文である『十八史略』「完璧而帰」には、なぜ藺相如は昭王に「無意償城」と見たのか、どのように璧を取り返したのか、なぜ昭王は藺相如を「賢」としたのかなど、詳しい説明がなく分かりにくい部分がある。そこで元の文章である『史記』の文章との読み比べを行うことによって、省略された内容やその構成に注目して、理解を深めることができるのではないかと考えた。『史記』は紀伝体で書かれた正史であり、単にできごとを記録するだけでなく、人物の生き方や心情も描き出している部分に特徴がある。特に今回の場面では、藺相如の言動について詳しく書かれており、秦の昭王に対しても怖じ気づくことない知勇兼備な人物像を読み取ることができる。二つの文章を読み比べ、『十八史略』では文章を簡略化

するために、藺相如が選ばれる過程や「完璧」に直接関係のない廉頗や繆賢という登場人物の描写を省いたという作者の意図まで考えさせたい。

(3) 対象生徒の実態

今回実践を行う「古典B発展」受講者5名は、全員が進学希望者であり、学習態度は真面目であるが、学力差が大きい。基礎基本の定着のため、毎時間小テストを行って古典文法や句法の復習をしている。今回の課題に関しても、学力差がある中でも全員で同じ課題について考えることができるよう、『史記』を扱う際には書き下しだけでなく現代語訳をつけたワークシートを活用させるようにした。

また、アンケートの結果によると中国の歴史・文化について興味を持っている生徒が多い。内容の読み取りだけでなく、文章が書かれた意図や当時の歴史的背景について考えることで、生徒は興味を持って学習に取り組むことができるのではないかと考える。

3 実践の概要

(1) 育成を目指す言語能力(現行の学習指導要領との関連)

高等学校学習指導要領 「古典B」読むこと

イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。

(2) 評価規準

| 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 |
|-----------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。 | 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。 | 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。 |

(3) 取り上げる教材・題材

『十八史略』 「完璧而帰」 精選古典B新版 東京書籍

(4) 単元の目標

- ・「完璧」の内容を構成や展開に即して的確にとらえようとする。(関心・意欲・態度)
- ・「完璧」の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。(読むこと)
- ・語句の意味や句法・文の構造を理解する。(知識・理解)

(5) 学習指導における具体的な評価規準

| 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 「完璧」の内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。 | 「完璧」の内容を構成や展開に即して的確にとらえている。 | 語句の意味や句法・文の構造を理解している。 |

(6) 設定した言語活動

「完璧而帰」と「廉頗藺相如列傳第二十一」を読み比べ、共通点や相違点について説明すること。(言語活動イ)

(7) 単元の指導と評価の展開

| 次 | 時 | 各時間の目標 | 具体的評価規準と評価方法 | 主な学習活動 |
|-------------|---|--|--|--|
| 1 | 1 | 『十八史略』「完璧而帰」の前半部分を読み取る。 | 【評価規準】 ・文法書を用いて適切に現代語訳ができる。(知識・理解) ・段落ごとの内容を的確にとらえようとしている。(読む能力) 【評価方法】 記述の点検 | ○ 本単元の学習の見直しをもつ。 ○ 『十八史略』の概要や、「完璧而帰」の時代背景について理解する。 ○ 本文を音読し、現代語訳する。 ○ 本文の内容を読み取り、「完璧」の本来の意味や藺相如の人物像について考える。 |
| | 2 | 『十八史略』「完璧而帰」の後半部分を読み取る。 | | |
| 2 | 3 | 『史記』「廉頗藺相如列傳第二十一」を読み、『十八史略』との共通点や相違点について考える。 | 【評価規準】 ・「完璧」の内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。(関心・意欲・態度) 【評価方法】 記述の点検・行動の観察 | ○ 『史記』の書き下し文・現代文を読み、段落ごとの内容を理解する。 ○ 『十八史略』との共通点や相違点について考える。 |
| 3 本 時 | 4 | 『十八史略』と『史記』の特徴について理解する。 | 【評価規準】 ・「完璧」の内容を構成や展開に即して的確にとらえている。(読む能力) 【評価方法】 記述の点検・行動の観察 | ○ 個人で考えたことを全体で発表し、考えを共有する。 ○ 全体で共通点や相違点を整理し、『十八史略』と『史記』の特徴について考える。 ○ 編年体と紀伝体の違いについて理解する。 |

(8) 本時の実際

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 具体の評価規 準・評価方法 |
|--|---|---|---|
| 導 入 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の音読をする。 ○ 前時の学習を振り返る。 ○ 本時の目標を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の確認を行い、「完璧而帰」の内容の確認を行う。 ○ 『十八史略』と『史記』の共通点や相違点について個人で考えたことを振り返らせる。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">『十八史略』と『史記』を読み比べて気づいたことを話し合おう。</div> | | | |
| 展 開 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人で考えたことを全体の場で発表し、共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各段落の『史記』の内容と、『十八史略』との共通点や相違点について気づいたことを各段落の担当者ごとに発表させる。その際、教科書の本文や書き下し文を根拠に発表させるようにする。 ○ 発表者が気づいた共通点や相違点以外にも気づいたことがあれば、その場で発表させる。 | <p>【評価規準】「完璧」の内容を構成や展開に即して的確にとらえている。(読む能力)</p> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動の確認 ・ 記述の点検 |
| 展 開 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 『十八史略』と『史記』の特徴について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全体での発表を整理し、共通点と相違点から、それぞれの文章の特徴について考えさせる。 ○ 個人で考えた後、全体で発表させる。 ○ 『史記』は人物の説明や言動、藺相如が選ばれた経緯などについて詳しく書かれているが、『十八史略』では省かれていることを理解させる。 ○ 紀伝体と編年体の違いについて理解させる。 ○ 「完璧」の意味を再確認し、故事成語は中国の歴史と深く関わっていることを理解させる。 | <p>【評価規準】「完璧」の内容を構成や展開に即して的確にとらえている。(読む能力)</p> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動の確認 ・ 記述の点検 |
| 終 末 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のまとめを聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の振り返りを書かせる。 ○ ワークシートを回収する。 | |

